

# 里親学生支援室だより NO. 27

発行日: 2023/9/28 発行元: 里親学生支援室



2023/8/24 (木)

## 近江八幡市・沖島方面での宿泊研修(日帰り)を実施しました!

「近江八幡市・沖島方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月24日(木)の夏期休暇期間を利用して、認定NPO法人滋賀医療人育成協力機構及び滋賀県医師キャリアサポートセンターと協同で宿泊研修を実施しました。今回も日帰りで実施し、本学学生16名(医学生13名、看護学生3名)と草津看護専門学校から4名、滋賀県立総合保健専門学校から6名の参加もあり総勢26名での研修となりました。

### 沖島診療所

今回ご担当の杉原玄久先生より診療所の様子についてお話しいただき、近江八幡市立総合医療センターの方からも診療所の運営について説明いただきました。最後に公民館の一角にある診療所を見学させていただきました。



僻地では、その土地の人口に医療提供をする体制を作っても医療が余ってしまう現状があり、なかなか医療を優先させることができにくくなっているということも分かった。医学科 第1学年

島民の高齢化や常勤医がない現状での救急体制、診療所の実態を知ることができ、地域医療のあり方や特有の問題について考えることができました。専門学校 1年

患者さんの症状によって薬や治療法が考えられるように、地域によっても医療のあり方、捉え方が異なる。今回の研修では、それぞれの地域の医療者がその地域の医療の形を模索しているという印象を受けた。  
看護学科 第1学年

1年生での地域論という授業で、他の学生さんが調べて発表されていたので、どのような歴史を辿ってきたのかを漠然と知っていたが、まさか実際に上陸して見学することができると思っておらず、非常に貴重な経験となった。島内の医療は、今まで比較的高度な医療が整った病院を見学していたので、現状にはかなり驚いたが、いざとなれば島外の医療機関にかかることもできると知り、島に合った医療が行われているのだなと知った。医学科 第2学年

沖島に住んでいる方たちが今の沖島での医療のあり方を変えて欲しいとまでは思っていないという考えを持たれていることは、意外に驚き特に印象に残っています。  
医学科 第1学年

実際に現地の医師の方や行政の方々とお話をさせていただく機会があったことで、より近い距離で学ぶことができました。医学科 第3学年

### 近江八幡市旧市街地散策

2班に分かれ、ボランティアガイドの方に案内してもらいながら、旧市街地を散策し、歴史的建造物に触れることができました。



沖島、近江八幡ともに感じたことは、風景の美しさです。里山的な自然の景観のみならず、通りや街並みにまで情感がありました。普段過ぐすときにも意識したい視点が得られたと感じました。  
医学科 第2学年

ガイドさんの案内で、綺麗な街並みを散策することができた。建てられた当時の知恵や考えがふんだんに使われた建物を見て回ることで、とても楽しい経験となった。医学科 第2学年

研修の様子は里親HPにも詳しく掲載しています!!

里親学生支援のホームページ  
(<https://www.shiga-med.ac.jp/~satooya/>)をご覧ください!

### ウォーリス記念病院

五月女院長の挨拶のあと、前田副院長から病院の概要や、病院の特色についてご説明いただきました。また院内のチャペルに仕えておられるチャプレンの中川先生から病院におけるチャプレンの在り方・役割についてもお話しいただきました。また、澤谷事務長から地域包括ケアシステムについてご説明いただいた後、新築された院内(緩和ケア病棟・リハビリテーション病棟)の見学を行っていただきました。途中、三ツ浪理事長も挨拶に来ていただき、ウォーリス記念病院の原点についてお話しいただきました。



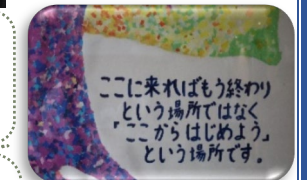
緩和ケア病棟の充実さ、勤務している方々の考え方が知れて、非常に魅力を感じました。医学科 第4学年



病院専属の牧師さんのお話を聴き、様々な思いを抱える患者さんと寄り添われている様子を学んだ。医療において身体的苦痛だけでなく、精神的苦痛を含む全人的苦痛に対するケアの重要性を感じることができた。専門学校 1年



柵の高さが変えられる入浴練習の設備や上から吊り下げられる歩行訓練の設備を初めて見て、退院後のQOLにかかわるリハビリの大切さを実感しました。看護学科 第1学年



教会がある病院は珍しいと思いましたが、患者さんがどうしようもない思いを整理する場として、とても重要な役割があると思いました。また、亡くなった患者さんとお別れをする部屋が緩和ケアにあったことも驚きで、遺族の心にも寄り添うことができる病院だと思いました。医学科 第3学年

患者さんのニーズに合わせたリハビリテーション施設やホスピスの部屋を見て衝撃を受けました。患者さんがいつでも自宅に復帰できるように支えていく姿勢に感動しました。医学科 1学年



【ごぶきかい】漁業組合・婦人会『湖島婦貴会』の方に、地元の食材を使ったお弁当を作っていただきました。ご馳走様でした!